

京王線地下化を求める集い

桜上水駅の駅舎は、高さ16mを超え、首都高よりも高くなります

下高井戸～上北沢 地域の線路は、マンションの4階～5階と同じ高さになります

1. 日時 4月11日(日) 9時半～12時

2. 会場 桜上水北会議室 洋室1・2 (途中退席も可です！お気軽にご参加下さい)

(杉並区下高井戸 1-24-15 桜上水駅北口徒歩1分 区民事務所桜上水北分室2階)

報告と討議 「環境評価住民意見ハガキを都庁提出・都庁との討議」

今後の活動 「明大前支部と連携したノボリ作成の提案」

主催: 下高井戸1丁目周辺地域の環境を考える会(京王線地下化を求める会)

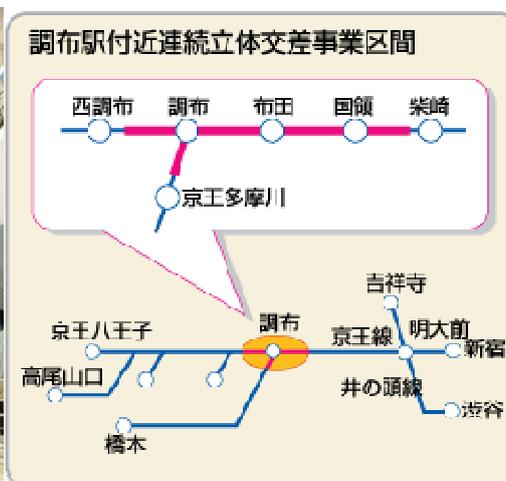
090-2487-0321(吉沢) 090-5497-4222(近藤)

【検索】「京王線 地下化」明大前HPよりリンクしています

<http://www.matsubara-1.org/>

<http://keiosenchikaka.giving.officelive.com/default.aspx>

京王線が2012年の完成を目指して進めている、調布付近、在来線の地下化工事例
(地上部の線路跡は、調布市と「緑化活用」で話し合いが進んでいます)



調布駅西側の立坑の様子(上段左側:相模原線下り、右側:京王線下り、下段左側:相模原線上り、右側:京王線上り)



調布周辺の、地下化工事の詳細は [京王線 HP](http://www.keio.co.jp/press/news/update/spc01.html#imgmap) ご参照

<http://www.keio.co.jp/press/news/update/spc01.html#imgmap>

報告

3月23日、東京都に848人の環境影響評価方法書への意見を提出！

(すでに提出した意見を含め、1000近い意見が今回寄せられたことは、成果です！)

「下高井戸1丁目周辺地域の環境を考える会」は、明大前周辺住民、結柴誠一杉並区議、木下泰之世田谷区議の参加も得て、それまで京王線沿線住民から集めた“848人分の意見書”を、東京都都市整備局に提出してきました。その折、泉谷交通企画課長補佐ら4名の担当課に、地元住民の声を伝えました。

- ・ 周辺住民への周知がないまま、「高架を前提」にした事業計画が、早々に進められていること
 - ・ 「全面地下化工事」が調布地域では実施されているのに、笹塚～つつじヶ丘間では「全面地下化」を採用しない理由の、調査データが公表されていないこと
 - ・ 「全面地下案」と比較した周辺環境への影響データがないこと
 - ・ 幹線道路建設を計画しながら、その道路による環境影響が、評価項目にないこと
- など、都の回答を求めましたが、11月の説明会と同様、納得できる回答はありませんでした。

東京都と京王電鉄が計画している連続立体化とは？

東京都と京王電鉄は、約40年も昔にたてられた「京王線の連続立体交差を高架方式で行う」計画を実行しようとしています。京王線の調布～国領間では、最新のシールドマシンを使い地下化工事を実施しているにもかかわらず、人口密集地域の「笹塚～つつじヶ丘」間は、高架にしようというのです。しかも財源は、85%が道路特定財源で事業者の負担は15%。7本の南北幹線道路と北側の側道建設がもう一つの目的です。

高架方式は既に決まったことで変えられない？

そうではありません。計画のできた昭和40年代と違い、シールド工法による地下掘削技術が格段に進歩した今、未だ高架方式を主張する都と京王電鉄に対し疑問が出始めています。

区議会のある会派は今回の計画の工事費算出に疑問を持ち、情報公開を求めるそうです。「広い空」、「緑による温暖化防止」、「価値ある財産を次の世代に残す」ため、市民運動を展開し、多くの沿線住民の声を、行政に認めさせることです。

まちづくりの主体は住民

「まちづくりの主体は住民」であり、地域住民の声を無視した勝手な計画が実行できないことを、東京都と鉄道事業者に知らしめることです。

下高井戸1丁目周辺地域の環境を考える会と明大前・京王線地下化実現の会を求める会 は、3月23日「京王線高架化・複々線化環境影響評価方法書」への住民の意見を提出しました。今後とも引き続き、住民の関心の高さを示す必要があります。

(参考)高架ができると次のような問題が起きる可能性があります

環境の悪化：首都高4号線と京王高架に挟まれ騒音・振動・日照などの被害に！

海側からの風が高架で阻まれ、真夏はヒートアイランドに！

資産価値の下落：環境悪化で下高井戸1丁目周辺地域の地価や建物の資産価値下落！

治安と景観の悪化：高架下は暗く、フェンスや塀で閉鎖され、放置ゴミなどの要因に！

地域が分断化：高架によって、周辺地域が新たな形で分断される！

車の増加：高架線北側に並行して新設される道路や、幹線道路による交通量の増加！

更に工事期間中は.....

長期間の夜間工事：約10年間、終電～始発までの、深夜の工事騒音と工事照明の被害！

桜上水は資材基地に？：桜上水住宅展示場は本年閉鎖・資材置き場の可能性大！

立ち退き：在来線南側沿線住民の立ち退き（買収に手間取れば更に工事が長期化！）

費用：高架は本当に地下より安い？（下北沢の総工費高架1380億円・地下1280億円）